

▼漏えいした個人情報は次のとおりです

内 容	詳 細	件数
旧能都町の平成 15 年度個人住民税に関する情報	所得割、均等割のある納税者の整理番号、税額	4,558 件
旧能都町の平成 16 年度個人住民税に関する情報	納税者の住所、氏名、整理番号、普通徴収対象者の税額	8,134 件

▼個人情報流出の経緯

9月9日(土)

- 21:50 頃 役場当直室にインターネット掲示板で能登町の個人情報が流出している旨の電話連絡
- 22:30 頃 役場担当者が掲示板を発見。情報流出に関する最初の書き込みが9日 17:00 頃であることを確認
委託業者に連絡し調査を指示する

9月10日(日)

- 2:00 頃 委託業者より流出データ発見の連絡
- 6:00 頃 委託業者の調査により、漏えい元のパソコンが特定され原因が判明
- 8:30 頃 委託業者社長ほか4人が来町し、報告を受ける
- 9:00 総務課長ほか町関係者で対応を協議
- 18:00 町長を含む町関係者が委託業者から報告を受け、対応を協議

9月11日(月)

- 13:30 緊急課長会議を招集し、個人情報取り扱いに対する周知徹底を指示
- 15:00 能登町役場にて記者会見を行う

▼原因と対応

【データ流出原因】

- 平成 16 年 7 月
委託業者の担当者（関連会社社員）が、住民税業務にて作業用および確認用にデータを作成し U S B メモリに保存
- 平成 16 年 12 月
保存されたデータの一部をファイル交換ソフトがインストールされた自宅のパソコンに保存
- 平成 18 年 8 月
自宅パソコンのウィルス対策ソフトの期限切れによるウィルス感染により、データが流出

【対応】

- ・調査会社にインターネット上の調査を依頼。プロバイダーに削除要請を実施し、データの削除・拡散防止をする
- ・住民への対応として相談窓口を設置
- ・個人情報が流出した住民に対し、謝罪文を郵送
- ・個人情報を取り扱う委託業者に対して、契約内容の見直しや指導監督の強化を実施
- ・右ページの再発防止策を町職員に通知し、徹底させる

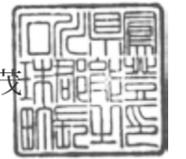
▼個人情報漏えいに関する相談窓口について

- ・電話の場合→総務課 ☎ 62-8510
- ・来庁の場合→総務課または各庁舎総合サービス課

平成 1 8 年 1 0 月 1 日

町民の皆様へ

能登町長 持 木 一 茂



個人情報漏えいについてのおわびと再発防止策について

すでに報道等でご存じかと思いますが、このたびの能登町の住民税に関する個人情報が流出したことによりまして、行政に対する町民の皆様の信頼を損なうこととなり、心より深くおわび申し上げます。

個人情報流出の経緯につきましては、能登町の税務処理委託業務を行っている業者の社員が所有するパソコンから、ファイル交換ソフトを介してインターネット上に流出したものです。

今回の情報漏えいの原因が委託業者にあるとはいえ、町民の皆様の大切な個人情報を管理する自治体として、また委託業者を監督する立場として、その責任の重さを痛感いたしております。

能登町といたしましては、この事態を厳粛に受け止め、今後このようなことのないよう下記の再発防止策を講じて、町民の皆様の信頼回復に誠心誠意努めてまいりますことをここにお願い申し上げます。

記

- ・個人情報保護に対する教育の徹底
- ・パソコンやデータの庁舎外持ち出し禁止の徹底
- ・自宅パソコンでのファイル交換ソフト利用禁止の徹底
- ・委託契約条項のセキュリティー項目強化
- ・委託業者に対する契約条項履行確認の徹底

農林水産物加工開発センターってなあに？



この釜で
100本を
同時に茹でられるよ！
トウモロコシ
いっぺんに

ここでは地元の食材を使って、地域の特産品を作り出すための施設なんだよ。一般の家庭じゃなかなかできない、色んな食品加工ができるんだ。直径1mの大きな釜や、ボイラーの蒸気で一気に蒸し上げるセイロ、真空パック装置、魚やイカを干物にする大きな乾燥機など色んな機械や設備を利用することができるよ。使う機械の種類や時間によって利用料が違うから、利用申込みをするときに施設の人に相談してね。

能登町 いいとこめどり



- 営業時間
平日 午前 8 時～午後 5 時
- 休業日 土曜日・日曜日
※事前にご予約いただければ営業します。
- 住 所 立壁 301
- 料 金
※使用する装置、利用時間により変わります。
- 問い合わせ ☎ 72-8111
FAX 72-8112



誰でも使える 加工開発センター

作り立ての味が楽しめる体験教室も開かれていよ！にがりの代わりに海洋深層水を使った豆腐づくりやイカの塩辛づくりになどが体験できるんだって。手作り、出来たてのお豆腐の味はまた格別だよ！
それから、地元で捕れた魚で作ったおいしい干物もここで販売してるんだ！旬の魚を干物にして1箱3000円の詰め合わせも発送しているんだって。ふるさとの海の香りを誰かに届けてみてはいかが？

作って食べよう！
作り立ての味が楽しめる体験教室も開かれていよ！にがりの代わりに海洋深層水を使った豆腐づくりやイカの塩辛づくりになどが体験できるんだって。手作り、出来たてのお豆腐の味はまた格別だよ！
それから、地元で捕れた魚で作ったおいしい干物もここで販売してるんだ！旬の魚を干物にして1箱3000円の詰め合わせも発送しているんだって。ふるさとの海の香りを誰かに届けてみてはいかが？

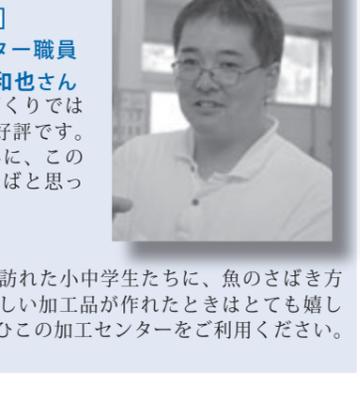


大豆をすりつぶしてお豆腐を作るよ！



「能登の新しい味を發見しませんか」
農林水産物加工開発センター職員
濱名 和也さん
深層水を使った豆腐づくりでは「豆本来の味がする」と好評です。今後より多くの方に、この施設を知っていただければと思っています。

坂口 貴紀さん
町内外からこの施設を訪れた小中学生たちに、魚のさばき方などを指導したり、おいしい加工品が作れたときはとても嬉しいです。みなさんもぜひこの加工センターをご利用ください。



土には「誇り」を、 俵には「職人魂」を。

土俵造り職人
稲井信男さん (58歳・新保)

相撲の競技場「土俵」。この土俵を造ることが出来る人間は、県内でも数少ない。そのうちの一人が新保の稲井信男さんだ。元々相撲部出身の稲井さんが土俵造りを始めたきっかけは25年以上前、「自分たちが練習していた土俵を自分で直そうと思った」からだ。自分で俵を作り、夜に一人で作業したという。出来上がった土俵に仲間も驚いた。
「最近では県内のみならず北信越からも依頼がくる」と話す稲井さん。手掛ける土俵は「きれいさ」が自慢だ。関係者から「こんなきれいな土俵は初めて」と言われることもあるという。「コンクリートのような美しさ」と評されるその土俵。「土には独自の成分を混ぜて長持ちするようにしている」と研究も重ねている。それでも「大男が転がったり、俵に足をかけたりするとヒヤッとする」らしい。
「俵が入ると土俵らしくなる」この日も、翌日に控えた大会に向け、丁寧に俵を埋めていた。稲井さんが手掛ける土俵には、数少ない土俵造り職人としての『誇り』と長年かけて培った『職人魂』が込められている。



柳田中学校2年 安多奈々
もし、ホームステイが2人1組ではなく、わたしひとりだったとしたらわたしは何をしていただろう。まず、きつがなばって話しかけるとおもいます。英語が分からないうちからと言って話すのを放棄したままでは何も始まらないからです。今回は一緒にホームステイした向口さんに英会話など助けてもらいました。でも、最後には自分の意味もなんとなく分かるようになりました。



柳田中学校2年 二又亮
僕はまたこの様な機会があれば、もっと英語を勉強して、相手に何を言いたいのか、何と返事を返せばいいのか、ということを一から学び、もう一度ホームステイしたいです。そして、単語を並べるだけではなく、一生懸命に何かを伝えようとする意思が必要だと思いました。コミュニケーションをとる時に、笑顔の人にはとても話しやすかったので、笑顔は世界共通なんだと思いました。



能都中学校3年 西 寿野



能都中学校2年 大黒真唯子
オーストラリアに行くまでは「積極的に話しかけたり、いろんなことを学ぼう」と思っていました。でもその日が近づくにつれて不安がたまってきました。初めて会った、しかも違う国の違う文化の中で育った人と一緒に生活するのが一番の不安でした。でも、現地ではホストファミリーの友だちも来てくれて笑顔で日本語の歌もうたってくれて嬉しかったです。迷惑もかけたと思うけど、とても感謝しています。

能都中学校2年 酒屋真紀



能都中学校3年 青山早紀
この研修に参加して能登町はもつといるんな国との交流を深めれば良いと思いましたが、能登は日本でもあまり知られていない地域なので、まずは日本人に能登のいいところをアピールして欲しいです。また、たくさんの方と関わりを持ち、子どもだけでなく大人も参加できる研修があればいいと思います。観光目的ではなくホームステイなどで国際交流を深めて欲しいです。異文化に触れ、日本の良さを改めて知りました。



オーストラリア



ってどんな国?

中学生体験記

スーツケースにたくさんの夢と希望を詰め込んで、町内の中学生12人が参加した平成18年度能登町中学生海外研修。この事業は、次代を担う中学生を海外へ派遣し、広い視野と実践力を備えた人材を育成することを目的とし、8月18日から27日までの9泊10日の日程で行われました。日本語が通じない環境で生徒たちは何を感じ、何を発見したのでしょうか？
さまざまな思いを胸に海外研修にチャレンジした生徒たちの体験記をご紹介します。

わたしが一番印象に残っていることは学校訪問です。現地に行くまではジェスチャーや「OK」とか「Yes」などの相づちでなんとかいけるだろうと思っていました。でも実際には、何て言えいいのか、どうやって伝えればいいのか分からなくなってしまう。頭が真っ白になりました。やっぱり英語をもっとたくさん勉強しておけばよかったとすこく後悔しました。

能都中学校2年 藤田 明



松波中学校2年 清佐早彩
オーストラリアに行ってみて、いろんな景色を見たり、新しい家族と過ごしたり、とても貴重な体験ができました。英語も前よりもっと興味がでてきたし、外国のことも少し分かったような気がします。何もできないと思っていた自分にも、少し自信が持てました。また、能都中と柳田中の友だちがみんなとても優しく明くるくと一緒に研修に行けてよかったと思っています。

能都中学校2年 鷺竹伊織



能都中学校2年 笹野里香
ホームステイ初日は、言葉が伝わらな過ぎて「もう嫌だ」と思いました。が！そんなことを考えないでホストファミリーの子どもと遊んで「どうやって遊んで仲良くなるのかな」と考えるようにしたら、とても楽しく5日間を過ごすことができました。日本の遊びや日本語を教えることができると、その代わりに英語もいっぱい教えてもらいました。だからお別れのときはとても切なかったです。

柳田中学校2年 向口瑞希

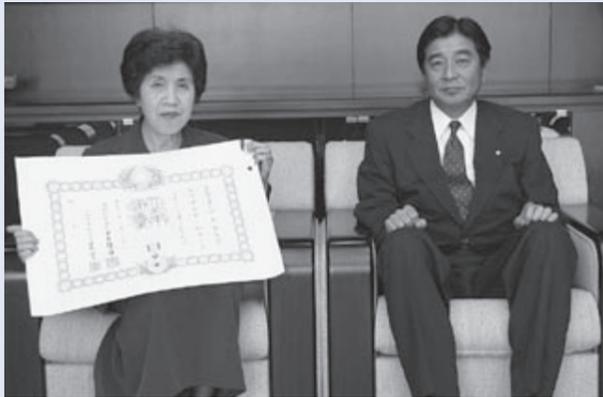


叙勲伝達式
川本貴久治さんの叙勲を伝達

昭和63年から16年間にわたり旧能都町の議会議員として町の発展に尽力された故川本貴久治さんの叙勲伝達式が、9月6日に役場能都庁舎で行われました。

式では、持木町長から妻の桂子さんに「旭日単光章」が伝達されました。川本さんは平成10年から12年まで議会議長・副議長として議会の円滑な運営に尽力し、また合併協議会の委員として能登町の誕生にも寄与されました。

桂子さんは勲章の前に、「働いて働いて、とにかくまじめな人だった」と故人を偲んでいました。



持木町長は「合併協議会でお世話になりました」とコメント

町長から花束を手渡され言葉を交わす八坂さん



100歳在宅長寿祝慰問
ときお婆ちゃんおめでとう！

8月28日で満百歳を迎えた恋路の八坂ときさん（明治39年生）のご長寿をお祝いしようと、持木町長が八坂さんの自宅を訪問しました。八坂さんは「遠いところをありがとうございます」と感謝の言葉で町長を出迎えました。

今でも裁縫や洗濯は自分でこなし、お風呂もひとりでのんびり入っているという八坂さんに長生きの秘訣を聞くと、「食べて寝るだけやわいね」とユーモアたっぷりに話してくれました。肌の色つやもよく、百歳とは思えないほど元気な八坂さん。これからもお体に気をつけて毎日楽しく過ごしてくださいね。

北河内ダム起工式
安心・安全・豊かな暮らしを

▶起工式での「作業はじめ」で、スイッチを押す谷本県知事

▼知事のスイッチで重機が作業を開始しました



石川県が町野川開発事業として建設を進めている北河内ダムの建設工事安全祈願祭と起工式が、9月3日に行われました。能登最大の河川である町野川上流に建設される北河内ダムは、治水、利水、環境の3つを掲げ、洪水調節と水道水の安定的な供給を目指しながら、環境にも最大限配慮されたダムです。昭和54年に予備調査が開始されてから27年、昨年には付替道路も完成しました。ダム本体の工事は今年度から進められ、平成22年の完成を目指します。

敬老会
元気で長生きしてください

国民の祝日に関する法律で「多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」日と定められている敬老の日（今年は9月18日）、宇出津地区の敬老会が役場能都庁舎で開催されました。満80歳以上の対象者415人のうち163人が参加し、婦人会のみなさんが用意した料理やアトラクションを楽しみました。また、この日を含む3連休には、不動寺地区、岩井戸地区、上町地区でも敬老会が催されました。敬老会は9月から10月にかけて町内17カ所で開催されます。町の敬老会対象者は約2,300人、これからも元気で長生きしてください。



婦人会のみなさんのもてなしを受ける参加者

新しい看板と使命を受けた旧白丸小学校校舎



やすらぎ能登教室開所式
心と体を育む教室

県内7カ所目の施設として旧白丸小学校を利用して設置された適応指導教室「やすらぎ能登教室」。8月22日にその開所式が行われ、関係者40人が出席しました。この施設は学校に行けなくなった小中学生や高校生を対象に、心と体が安心できる居場所を提供し、ゆるやかな学校や社会への復帰を手助けするところです。また、自分の意志を伝える力、集団生活の中に適応する力を育みます。相談員の角昌三さんは「悩む子どもは少ない方がいい、でもどこに相談すべきかわからないときは遠慮なく連絡ください」と話していました。

小木袖キリコ祭り
雨の中でも、ヨイトショー！

小木地区の秋祭り「小木袖キリコ祭り」が9月16・17日に行われました。16日夜、武者絵などが描かれた各町内自慢の袖キリコが小木港に集結、花火を合図に順番に動き出しました。

今年はいにくの雨祭りとなり、袖キリコにはビニールがかぶせられていましたが、担ぎ手や子どもたちは、太鼓に合わせて「ヨイトショー、ヨイトショー」と元気に囃していました。

午前0時、西町に集結した袖キリコは、例年ならば御舟神社への曲がりくねった急な坂を引き上げられますが、今年は雨のために危険との判断から中止されました。



広い交差点で、勢いよく回される袖キリコ

宇出津小学校6年生による鼓笛隊のパレード



商店街まつり「歩行者天国」
にぎわいのある商店街を

9月18日、宇出津新町通りを中心として商店街まつり「歩行者天国」が開催されました。にぎわいのある商店街をつくろうと毎年実施されているこのイベントは、毎年「お斎市」が行われるこの時期に開催されています。

午後3時、保育所園児によるお祭りごっこから始まり、鼓笛隊の演奏、ジャズサイズ、ブラスバンド演奏、よさこいなど多彩な催しで会場は盛り上がりを見せていました。午後7時からはナツメロ歌謡ショーが行われ、乙田修三さんをはじめ5人の歌手が登場し、自慢の歌声を披露しました。